

特定行為区分	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連		時間	8
特定行為名	(A) 気管カニューレの交換			
学ぶべき事項	(共通) 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連の基礎知識	1. 気管切開に関する局所解剖 2. 気管切開を要する主要疾患の病態生理 3. 気管切開を要する主要疾患のフィジカルアセスメント 4. 気管切開の目的 5. 気管切開の適応と禁忌 6. 気管切開に伴うリスク（有害事象とその対策等）		
	(A) 気管カニューレの交換	1. 気管カニューレの適応と禁忌 2. 気管カニューレの構造と選択 3. 気管カニューレの交換の手技 4. 気管カニューレの交換の困難例の種類とその対応		
研修概要	(共通) 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連の基礎知識	気管切開の必要性やその特徴を理解し、安全に気管カニューレの交換を実践できる看護師を養成する。		
	(A) 気管カニューレの交換	医師の指示の下、手順書により、気管カニューレの状態（カニューレ内の分泌物の貯留、内腔の狭窄の有無等）、身体所見（呼吸状態等）及び検査結果（経皮的動脈酸素飽和度（SpO2）等）等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、留置されている気管カニューレの交換を行う。		
到達目標	1. 医師の指示の下、手順書により、医療面接、身体所見及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、気管カニューレの交換ができるようになる。			
	2. 手順書案を作成し、再評価、修正できる能力を養う。			
	3. 医師、歯科医師から手順書による指示を受け、実施の可否を判断するために必要な知識を養う。			
	4. 実施、報告の一連の流れが適切に行える。			
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト			
	OSCE：評価表を用いた観察評価			
	試験：eラーニング上もしくは集合で修了試験を実施			
研修内訳	講義（7時間）	視聴時間45分＋講義確認テスト15分		
	OSCE（1時間）	OSCEは、指定研修機関で行う		
	試験	※修了試験は指定研修機関ごとに時間・設問数など設定してご利用ください		

学ぶべき事項		講師	所属	研修方法	通番
(共通) 呼吸器 (長期呼吸療法に係るもの) 関連の 基礎知識	気管切開の目的と局所解剖、適応と禁忌	小川 真	大阪大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 准教授	講義	1
	気管切開を要する主要疾患のフィジカルアセスメント、気管切開に伴うリスク（有害事象とその対策等）	小川 真	大阪大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 准教授	講義	2
	気管切開を要する主要疾患の病態生理（1）	小川 真	大阪大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 准教授	講義	3
	気管切開を要する主要疾患の病態生理（2）	小川 真	大阪大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 准教授	講義	4
(A) 気管カニューレの交換	気管カニューレの適応と禁忌、気管カニューレの構造と選択	小川 真	大阪大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 准教授	講義	5
	気管カニューレの交換の困難例の種類とその対応	小川 真	大阪大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 准教授	講義	6
	気管カニューレの交換の手技	田村 学	おおさか往診クリニック理事長	講義	7
	気管カニューレの交換	小川 真	大阪大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 准教授	OSCE	8